

令和8年1月30日  
(公財)横浜市緑の協会  
よこはま動物園

## よこはま動物園ズーラシア コウノトリの「白藤」が死亡しました



よこはま動物園で飼育していたコウノトリの「白藤（シロフジ）」が死亡しましたので、お知らせします。

### ○死亡したコウノトリ

- (1) 性別 メス
- (2) 出生日 平成10年4月17日（27歳）
- (3) 死亡日時 令和8年1月19日（月）正午頃死亡確認
- (4) 死因 心不全疑い（病理検査待ち）
- (5) 経過 1月19日の朝に食欲の低下が見られましたが、そのほかの異常は見られませんでした。正午頃に様子を確認したところ、死亡を確認しました。

### ●白藤のプロフィール

平成12年に兵庫県立コウノトリの郷公園から当園に来園しました。

平成18年に当園で初めての繁殖に成功したペアのメスで、その際に4羽の雛を育てました。

最近はバックヤードで飼育しており、穏やかに過ごしていました。



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

## 【参考資料】

### ■コウノトリについて

和 名	コウノトリ
英 名	Oriental Stork
学 名	<i>Ciconia boyciana</i>
分 類	コウノトリ目 コウノトリ科
分 布	アムール川流域、中国南東部
生 態	両翼を広げると 2 メートルを超える大型の鳥で、湿地や河川などを好んで生息します。餌は魚や両生類、昆虫などの小動物が中心です。巣はアカマツなどの大木の上に枝を組んで作り、その大きさは直径約 2 メートルにもなります。
保全状況	かつては日本各地に広く分布していましたが、明治期以降の乱獲や餌資源の減少、営巣に適した樹木の伐採などにより個体数が激減しました。昭和 31 年には文化財保護法に基づき、国の特別天然記念物に指定され、保護政策が取られましたが、減少は止まらず、昭和 46 年に野生では絶滅しました。一方、飼育下では繁殖に成功し、平成 17 年にはコウノトリの郷公園（兵庫県）が野外への放鳥を開始し、野生復帰が実現しました。平成 19 年には放鳥個体が野外で自然繁殖するようになり、その後も放鳥と野外での自然繁殖が続いている。現在（令和 7 年 6 月末時点）では、500 羽を超えるコウノトリが野外で確認されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I : 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育羽数	3 羽 (オス 2 羽、メス 1 羽) ※今回死亡した個体含まず
国内飼育羽数	17 施設 195 羽 (オス 93 羽、メス 89 羽、不明 13 羽) ※令和 7 年 7 月 31 日時点(傷病救護一時収容のみの 2 園館含む)

### ■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料

毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1

◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間

◆URL : <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先：045-959-1000